

結 成 宣 言

われわれは、本日、国鉄動力車労働組合の解散に伴って、国鉄動力車労働組合水戸地方本部を、動力車労働組合(動労)として独立をした。

これは中曽根内閣の民主主義を破壊し、軍事大国化に向けた、戦後政治の総決算路線での国鉄分割民営化の強行により壊滅的状况に陥った国鉄労働運動の再生への道であるからである。

われわれは嘗っての国鉄動力車労働組合の輝く運動の伝統を継承し、労働者の立場を明確にし、労働者が、労働者を差別・選別をしない当り前の労働運動をするためである。

国鉄改革の過程に於いて、多くの労働者が自殺に追いやられるなかで、資本と一体となって、鉄道労連は、分割民営化を美化し、反対している国労を解体するために、国労の組合員を出向という名目で職場から追い出せなどと労働組合として、あるまじき運動を基本方針としているからである。このような道を労働者としてわれわれは絶対に採らない。

日本国有鉄道の承継法人である、各鉄道会社の真面目な仲間との連帯を強め、地域の仲間ともスクラムを組んで、堂々と運動を展開するものである。

歴代の自民党政治が進めた、経済政策の失敗により、いまや、国家負債は一五〇兆円にもなり、円高不況による国内失業者は、二〇〇万人を突破した。

この体制的危機を労働者階級への責任を転嫁して乗り切ろうとしている。JR各社に於いても、法案に基づき定員割れにもかかわらず、出向や、無人駅への強制配転などが、鉄道労連と企業との連携のもとで進められている。

更に要員を無視した、六三・三時の要員合理化小集団、プラスチックなどの増収運動により、飴と鞭で強制的労働を押しつけられている。

われわれは、労働者として、労働組合として、合理化反対・運転保安確立理不尽な強制労働に断固反対する。生活を守り、平和を守るなどを基本に、どんなに苦しくとも労働運動の原点を守り、勇気をもって正々堂々と歩むものである。

右、宣言する。

一九八七年八月二十七日

動力車労働組合結成大会